

平成 23 年 11 月

社団法人日本建築積算協会 会員各位

(財)建設業振興基金  
建設産業情報化推進センター

建築積算データの標準電子データ化に関する実証実験への参加のお願い

平素から CI-NET の活動に対し、ご協力いただき誠にありがとうございます。

建設産業情報化推進センターでは、建設業の電子データ交換標準 CI-NET を開発・普及推進する活動を行ってきておりますが、その活動の一つとして平成 19 年度から主に総合工事会社と積算事務所間の建築積算業務を検討範囲として、電子データの利用を進める取組を行っています。

平成 22 年度には、貴協会会員企業の協力のもと、CI-NET LiteS 実装規約 Ver.2.1 のデータ項目を基に、授受する建築積算データ(数量データ)の項目やフォーマット案を策定および検証用の積算ソフトにて小さい規模データのやり取りの実証を行いました。平成 23 年度下半期には、やり取りの建築積算データのビューソフト(建築積算・見積ツール(仮称))を作成して実証環境を整備し、メッセージ(データ項目)の精査および実証を行う予定で、すでに一部の実証に着手しています。平成 24 年度には広く評価していただく予定です。

つきましては、貴協会のより多くの会員企業にも実証実験に参加していただき、建築積算データの標準電子データ化を推進していきたいと考えておりますので、何卒ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

#### 記

#### ■ 建築積算データの標準電子データ化に係る実証実験

参加していただきたい企業:

積算ソフトベンダ、総合工事会社、積算事務所

参加期間: 平成 23 年度活動(一つの建物レベルのデータによる実証)

平成 24 年 1 月から平成 24 年 4 月まで、2 回程度を想定

平成 24 年度活動(建築積算データの標準電子データ化の評価)

平成 24 年 7 月から平成 25 年 4 月まで、2 回程度を想定(見込み)

参加形態: 実証実験会議の出席(作業内容の検討など)

作業内容: ソフトに実装、建築積算データの授受、データ項目の過不足検証など、いずれかあるいは全て

実施機関: 情報化評議会((財)建設業振興基金/建設産業情報化推進センターに設置)

参加方法: 建設産業情報化推進センターに連絡

参考資料: 01 建築積算業務における電子データ化の推進

02 建築積算メッセージのデータ項目・集計表の区分に使用するコード 一覧表

03 工種科目・部位区分

以上

問い合わせ先 財団法人建設業振興基金 建設産業情報化推進センター 帆足(ほあし)、秋山

tel.03-5473-4573 fax.03-5473-4580 メールアドレス ci-net@kensetsu-kikin.or.jp